

事業実績シート

第5号様式の2

1 事業の概要

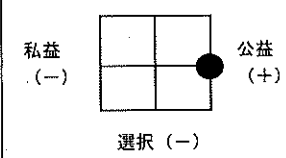
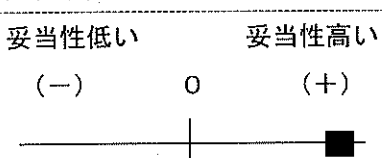
協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	平成29年度中学生マレーシア交流事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	西海市	さいかい力創造部 政策企画課	坂本 章	0959-37-0063
事業期間	開始年	平成26年 4月 1日 (4年目)		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日) 29年 6月 27日 (完了日) 30年 3月 28日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	市内の中学生 8名		国際理解を深め視野をグローバルに広げることにより、国際感覚を醸成することが主な目的である。また、今後の人間形成の一助となりうるものとし、他校の参加中学生と一緒に巡ることで、同世代の交流の幅を広げることも目的の一つとする。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	市内の中学生 8名をマレーシアに派遣し、国際理解を深め視野をグローバルに広げることにより、国際感覚を醸成することが出来る。 また、他校の参加中学生との交流はもちろんのこと、現地の住民及び中学生と交流する。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	市内の中学生がマレーシアを訪れ、公用語の一つになっている英語、お互いの歴史及び文化に触れることで交流の輪を広げ、国際感覚豊かな青少年の健全育成を図ることを目的とする。			
(経緯・現状)				
旧大瀬戸町では、オーストラリアのポーエン市と国際交流事業を実施しているが、合併後には国際交流事業を実施していなかった。しかし、中学生が国際理解を深め、国際感覚を高めるためには交流事業が必要なため平成26年度から事業を開始した。				

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費 (円)		2,479,805円	1,972,632円	2,042,910円					
(財源内訳)	国庫支出金	-							
	県支出金	-							
	地方債	-							
	その他	-							
	市町振興共同事業助成金	1,479,000円	1,220,140円	1,443,000円					
	一般財源	1,000,805円	752,492円	599,910円					
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度	
	①	中学生海外派遣事業の実施	マレーシアを訪問し、国際理解を深め、国際感覚を高める。現地の住民及び中学生との交流を深める。	人	目標	-	8	8	
					実績	-	8	8	
				目標達成率 (%)	-	100%	100%		
	②					目標			
						実績			
					目標達成率 (%)				

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+)  私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) □ 広く社会に利益をもたらすサービス □ 特定の個人又は集団のためのサービス ■ 上記以外の中間的なサービス	(必需性) □ 住民生活に必要な不可欠なサービス □ 住民生活に必要な不可欠ではないサービス ■ 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価	(3) 廃止又は休止した場合の影響	
	妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 	(影響内容、程度等) 市内中学生の国際理解を深め、国際感覚を高めるためにも事業を廃止又は休止することは厳しいものと思われる。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った			
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 訪問地では、現地中学生宅にホームステイをして交流を行なっているため、移動経費をこれ以上削減することが出来ない。		
	実施予定 期 日			
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない				
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない			
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		現在の受益者負担4分の1を3分の1に見直しても、国際交流支援事業助成金がないと歳入確保が困難である。		

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	■ 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■ 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	■ 現状維持
実施予定時期					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 具体的内容 </div>					